

時間外勤務短縮を実現した 訪問看護の文書簡素化

湖東訪問看護ステーション

三戸 しのぶ 小野 かおる

はじめに

訪看

- 訪問業務
- 情報共有、記録作業、他職種との連絡対応など

時間外理由

- 月末に集中する訪問看護報告書、訪問看護計画書（文書）の作成

取り組み

- 文書作成の記録方法と提出期限見直し

目的

訪問看護文書簡素化することで
業務の効率化を図り時間外の短縮
に繋げる。

用語の定義

時間外勤務

緊急訪問を除いた平日17時以降の
業務時間とする

訪問看護文書

訪問記録・訪問看護報告書・
訪問看護計画書とする

研究方法

- 1) 期間：2021年4月～2023年3月
- 2) 対象：A訪問看護ステーション看護師 5名
- 3) データ収集方法
 - ① アンケート内容
 - ・ 時間外の主な業務内容
 - ・ 改訂後の業務変化
 - ② ステーション会議でのスタッフの評価
- 4) 分析方法

アンケートを単純集計し文書簡素化前後の時間外/人と文書作成数/人の比較

5) 訪問看護文書の変更内容

訪問看護報告書

別紙様式2 訪問看護報告書

利用者氏名	生年月日		年		月		日()歳		
要介護認定の状況	要支援 (1 2)		要介護 (1 2 3 4 5)						
住所									
訪問日	年 月				年 月				
	1 2 3 4 5 6 7	8 9 10 11 12 13 14	15 16 17 18 19 20 21	22 23 24 25 26 27 28	29 30 31	1 2 3 4 5 6 7	8 9 10 11 12 13 14	15 16 17 18 19 20 21	22 23 24 25 26 27 28
訪問日を○で囲むこと。理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士による訪問看護を実施した場合は◇、特別訪問看護指示書に基づく訪問看護を実施した日は△で囲むこと。緊急時訪問を行った場合は×印とすること。									
病状の経過		③当該月の新たな情報のみ記載							
看護の内容									
家庭での介護の状況									
衛生材料等の使用量および使用状況	衛生材料等の名称: () 使用及び交換頻度: () 使用量: ()								
衛生材料等の種類・量の変更	衛生材料等(種類・サイズ・必要量等)の変更の必要性: 有 ・ 無 変更内容								
特記すべき事項									
作成者	氏名:	職種: 看護師・保健師							

① 重複記録の削除

② バイタルサインの転記



1か月分の記録用紙をシステムより出力

上記のとおり、指定訪問看護又は看護サービスの提供の実施について報告いたします。

5) 訪問看護文書の変更内容

訪問看護計画書

別紙様式1

訪問看護計画書

ふりがな 利用者氏名		生年月日	年 月 日 () 歳
要介護認定の 状況	自立	要支援 (1 2)	要介護 (1 2 3 4 5)
住 所			
看護・リハビリテーションの目標			
年 月 日	問 題 点 ・ 解 決 策		評 価
衛 生 材 料 等 が 必 要 な 処 置 の 有 無		有 ・ 無	
処置の内容	衛生材料 (種類・サイズ)	必要量	
訪問予定の職種 (※当該月に理学療法士等による訪問が予定されている場合に記載)			
備考			

④ 評価のみ
記載

⑤ 提出期限を
翌月7日以内

上記の訪問看護計画書に基づき指定訪問看護又は看護サービスの提供を実施いたします。

年 月 日

事業所名

管理者氏名

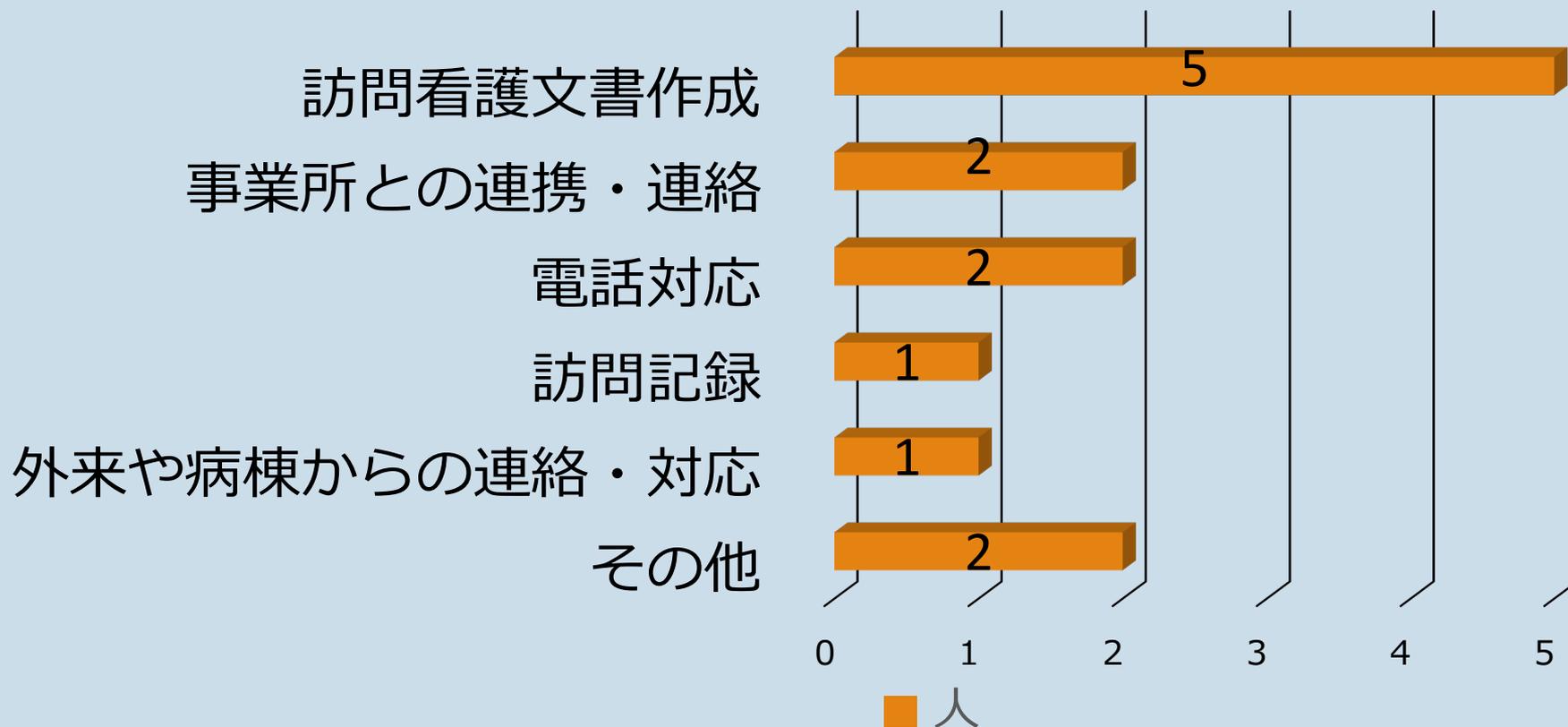
印

倫理的配慮

研究の趣旨を口頭で説明し、アンケートについてプライバシーの保護に努め、病院の倫理委員会の承認を受けた。

結果1 アンケート

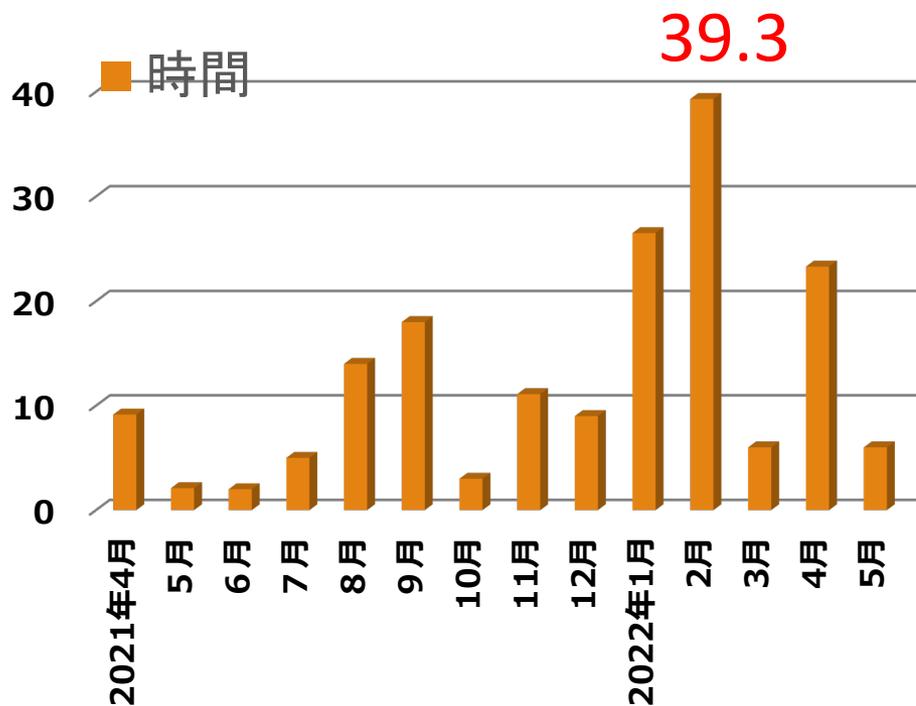
時間外の主な業務内容



結果2 月別時間外勤務時間

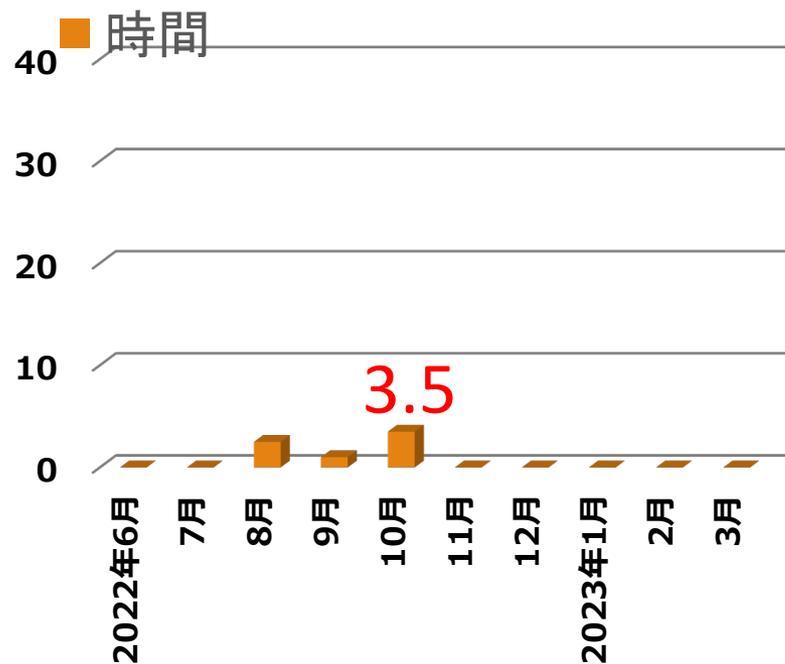
改定前【平均12.5時間／月】

月別文書取扱い数 【平均18.5件/月】



改定後【平均0.7時間／月】

月別文書取扱い数 【平均21.7人/月】



結果3

ステーション会議でのスタッフ評価

利用者が困っている事例を皆で共有する時間が増えた

利用者から電話が来ても以前より相談内容について耳を傾ける事ができた



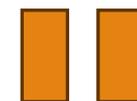
考察1

文書作成

当該月の最終訪問日以降
訪問のため月末に業務集中

担当者

看護計画盛り込みでの
記載内容が多かった



重複



簡素化

時間に余裕

考察2

提出期限の変更



時間に余裕



スタッフ間での
情報共有増える

考察3

スムーズな
コミュニケーション

訪問後の
看護師の気づき

次の訪問に
活かされる



ケアの共有・継続

結論

- ①訪問看護文書作成の簡素化により、
効率よく業務ができ時間外勤務短縮に
繋がった。
- ②利用者へのケアの質、スタッフ間の
コミュニケーション向上に繋がった。